

心を打つ音楽

飄

々

広報委員

岡山 智亮

私は、かれこれ30年間にわたりヒップホップミュージック（以下、「ヒップホップ」）に心を奪われ続けています。初めての出会いは中学生のころにテレビでたまたま目にしたアメリカのミュージシャンのミュージックビデオでした。その時は一目見てそのカッコよさに魅了されてしまいました。ヒップホップと一言と言っても時代や場所によっていろいろな表現方法があります。当時私が聴いていた90年代はアメリカの西海岸で流行した華やかでノリのよいものが主流となっていました。しかし、私が一目ぼれしたものはアメリカの東海岸でよく見られたジャズの要素を取り入れたもので少しダークなものでした。以降、東海岸の物を中心に曲のカッコよさでヒップホップを聴いていました。曲の他にヒップホップの大切な要素としてラップがあります。これは歌唱法の一つで、音楽に合わせながらしゃべるように歌うものです。歌詞の内容としては自分の生い立ちや思想、その時その時の時事ネタをテーマにすることが多く、内容を意識しながらも韻を踏んでいるのも特徴です。アメリカのヒップホップを聴いているときは前述したように曲のカッコよさを基準に聴いていたので、歌詞の内容には興味があまり向いていませんでした。英語で、しかも早口で歌われるためCDに付属されている歌詞カードを見ないとまず歌詞を理解することはできません。それでも内容は気になるので歌詞カードに目をやるのですが、人種問題など当時の自分の生活とは結び付きにくい内容がそこにはありました。そのためなかなか実感できる内容ではなく、結局当時の私はアメリカのヒップホップを表面上のカッコよさで聴

いていたと思います。

そうしてしばらくはアメリカのヒップホップを聴いてきたのですが、ここ数年で日本のヒップホップに徐々に興味が移ってきました。最近では9割方、日本の物を聴いていると思います。やはり日本語であれば歌詞の内容がダイレクトに入ってくるのと同時に、大事な要素である押韻も楽しめるようになりました。内容も身近なものとして感じられるものが多いと思います。最近では、日本でも数多くのアーティストが活動していますが、その中でもZORNというアーティストの作品に考えさせられたことがありました。ZORNは奥さんと3人の娘さんと生活しています。上の2人の娘さんは実の子ではなく奥さんの前夫との子です。そんな娘さんたちに向けた「Letter」という楽曲があります。2017年に発表されたもので、娘さんたちに対しての愛情が歌われていますが、子育てをしていく中での苦悩のようなものも表現されています。特に曲の最後にある「お前らが生まれた日は知らないでも過ごした時間は血よりも濃い」の一節は何回聴いても心が震えてしまいます。現在、私には3歳と1歳の娘がいます。子育てをしていたら普段から苦勞することも多いです。正直たまには投げ出したいくなってしまいうこともあります。それでも、この「Letter」を聴くと自分の気持ちを代弁してくれているような感覚になり、ものすごく力になっています。この感覚は子供が生まれる前にこの曲を聴いていた時にはわからなかったもので自分の立場が変わったことによって、ここまでこの曲に対する受け取り方が変わるものかと驚きでした。おそらく、子

育て真最中の人であればこの曲に同じように力をもらえる部分もあるのではないかと思います。このように同じ立場の人が共感できる歌詞とは、自分の実体験をリアルに表現しているからこそなんだろうなと思います。書かれている内容は子育てをしていたら「そうそう」と思えるような、言わば当たり前のことのような気がします。それでも、その当たり前のことを改めて共感できることは何よりも心強いことだと思います。ここ数年は新型コロナウイルスの感染流行もあり直接的な人同士のコミュニケーションが限られた生活を強いられており、共感を得にくい生活になっている気がします。そんな中でも私たちの仕事は制限がありながらも、ある程度人との接触を持続させながら行っていることもあり、ありがたいことだなと感じるところがあります。

現在では、直接的なコミュニケーションではなくともさまざまなツールを使って人と繋がることのできる時代になっています。その中でも、こう

した音楽は昔から存在するコミュニケーションのツールだったと思います。数十年ヒップホップを聴いてきましたが、今回の「Letter」以外にも心を動かされるような曲に出会ってきました。ラップの歌詞というもの一般的な歌の歌詞に比べて早口で歌われるため、一曲の中での文字数も増え、必然的に情報量が多くなってきます。また、自らが経験してきたこと、普段から実践していることを内容にすることが多いことも加わり、共感を得やすいのかと思います。そういったところからアーティスト各々の思考が伝わりやすくまた、個性が出やすいのかと思います。これからもこのような心を打つ音楽との出会いを楽しみにしたいと思います。

死体検案数掲載について

山口県警察管内発生の死体検案数								
	自殺	病死	他殺	他過失	自過失	災害	その他	合計
Mar-22	15	187	0	0	15	0	17	234

死体検案数と死亡種別（令和4年3月分）

